

# 2024年度 臨時研修会のご案内

集合型研修（東京開催）＋  
PCライブ研修（Zoom）

募集開始日：2024年8月20日（火）

# JB1

## Smart Prosecution

～米国特許実務のアップデート：誤った実務から脱却し、  
他社に脅威となる米国特許ポートフォリオを構築する方法～

申込締切日  
2024年9月25日  
お申込みはこちらから！

### 概要

多くの日本企業にとって米国は最も重要なマーケットの一つであり、特許の係争や交渉においてもしばしば米国特許が非常に重要な位置づけを占めます。

一方で、多くの日本企業が、日本特許をそのまま直訳して米国で権利化したり、米国特許庁のメカニズム・米国審査官の行動原理を理解することなくOffice Actionに応答する結果、多額の権利化コストがかかってしまったり、他社への牽制力が乏しい多くの問題点を抱えた米国特許を取得し続けています。

米国での特許係争の経験が少ない日本企業では、そもそも自身の米国特許が抱える問題や、非効率な権利化業務を行っていることについて気づいていないことも多々あります。

そこで本研修では、米国特許庁および審査官のメカニズムを理解し、有効かつ効率的なオフィスアクションへの応答、代理人への指示の仕方、審査官インタビューの活用方法を学びます。また、日本スタイルのクレームが抱える大きな問題点を理解し、自社の米国特許を実際にレビューして改善案を検討します。

これにより、自社の米国特許実務をアップデートし、多くの日本企業が陥りがちな誤った権利化実務やクレームドラフティングから脱却し、権利化「コストを削減」しつつ特許の質を向上させる方法を学びます。そして、他社への脅威となり権利活用に耐え得る特許ポートフォリオの構築を目指します。

#### 【研修の概要】

- ・ 米国特許庁・審査官のメカニズム
- ・ 審査官インタビューの活用方法および米国代理人への効果的な指示の出し方
- ・ 審査のフェーズに応じた権利化戦略
- ・ 日本企業が陥りがちな誤ったクレームドラフティングおよびその改善策
- ・ 米国特許訴訟のランドスケープと発想の転換の必要性
- ・ 自社の権利化プロセスの改善
- ・ 他社への牽制や権利活用に耐え得る特許ポートフォリオの構築

※なお、本研修はスライドは全て英語、英語と日本語で解説致します（英語のパートは日本語でのサマリーが入ります）。

また、オンライン（Zoomミーティング）と対面レクチャーをそれぞれ2回ずつ行うことで、グループでのディスカッションの時間も多く取り入れます。

	日程	講義内容（内容やスケジュールは一部変更になることがあります）	講師
1	【PCライブ研修】 2024年 10月9日（水） 9:00～11:00	<b>第1回</b> <b>「審査官インタビューを活用したSmart Prosecution」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ USPTOの審査の仕組み</li> <li>・ 審査官インタビューの戦略的活用</li> <li>・ 米国代理人への効果的な指示の出し方</li> <li>・ 102/103条拒絶への応答戦略</li> <li>・ 化学分野特有の戦略</li> <li>・ 継続出願の戦略的活用</li> </ul> ※課題（第2回に向けて）： 仮想事例に基づき審査官インタビュー前の米国代理人への指示を作成	Xsensus, LLP Bradly Lytle 氏 Andrew Harry 氏 横山 昌史 氏  通訳・ファシリテーター 仲村 理紗 氏

集合型研修（東京開催）＋  
 PCライブ研修（Zoom）

**JB1**
**Smart Prosecution**

 ～米国特許実務のアップデート：誤った実務から脱却し、他社に脅威となる  
 米国特許ポートフォリオを構築する方法～

	日程	講義内容（内容やスケジュールは一部変更になることがあります）	講師
2	【集合型研修】 2024年 11月15日（金） 13:30～16:30 ※17:00～懇談会	<b>第2回</b> <b>「審査フェーズに応じた権利化戦略」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題のグループディスカッションとフィードバック</li> <li>・審査官インタビューの実演（講師によるモック）</li> <li>・米国出願前のクレームの修正</li> <li>・審査官インタビューのタイミング</li> <li>・Final OAへの応答戦略</li> <li>・Appeal/Reissue/Reexam</li> <li>・AI分野特有の戦略</li> </ul>	Xsensus, LLP Bradly Lytle 氏 Andrew Harry 氏 横山 昌史 氏  通訳・ファシリテーター 仲村 理紗 氏
3	【PCライブ研修】 2024年 12月18日（水） 9:00～11:00	<b>第3回</b> <b>「日本企業による典型的な米国特許実務の誤りと            その改善策」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Means Plus Functionクレーム</li> <li>・日本基礎出願の改善</li> <li>・クレームカテゴリーの選定</li> <li>・従属クレームの活用</li> <li>・不要なエストップペルの削減</li> <li>・課題(第4回に向けて)                自社特許をレビューし、典型的な誤りがあるかを調査し                改善案の提出</li> </ul>	Xsensus, LLP Bradly Lytle 氏 Andrew Harry 氏 横山 昌史 氏  通訳・ファシリテーター 仲村 理紗 氏
4	【集合型研修】 2025年 2月19日（水） 13:30～16:30	<b>第4回</b> <b>「Proactive Patent Portfolio Management – 他社に            脅威となる米国特許ポートフォリオの構築」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国特許訴訟のランドスケープ</li> <li>・Post-Grant Challengeを耐え抜く権利化戦略</li> <li>・権利行使前の特許ポートフォリオのブラッシュアップ</li> <li>・自社の権利化プロセスの改善</li> <li>・課題へのフィードバック</li> </ul>	Xsensus, LLP Bradly Lytle 氏 Andrew Harry 氏 横山 昌史 氏  通訳・ファシリテーター 仲村 理紗 氏

## 注意事項

- 災害等緊急事態発生時の研修中止等の連絡は、JIPA SNSでも発信しています。  
 JIPAホームページバナーからもアクセス頂けます。
- 多数の方の参加が見込まれますが、会場収容人員の都合により、受講申し込み人数が募集定員に達した場合には募集を締め切らせて頂きますので、お早めにお申し込みください。万一、受講申込者数が最少開講者数に達しなかった場合は、開催を中止させて頂く場合がございます。

集合型研修（東京開催）＋  
 PCライブ研修（Zoom）

**JB1**

## Smart Prosecution

 ～米国特許実務のアップデート：誤った実務から脱却し、他社に脅威となる  
 米国特許ポートフォリオを構築する方法～

### ■ 集合型研修（東京開催）＋PCライブ研修（Zoom）

申込コード：JB1-T1

日時＊	2024年10月9日（水） ～ 2025年2月19日（水） ＊時間は1-2頁に記載	会場	【集合型研修】 飯田橋レインボービル 東京都新宿区市谷船河原町11  【PCライブ研修】 Zoomミーティング
テキスト	【集合型研修】 紙テキスト（会場で配布） 【PCライブ研修】 電子テキスト（協会研修会サービスよりダウンロード）		
定員	40名 応募資格 下記1及び2の要件を満たす方を対象としています。 1）米国特許の権利化業務を少なくとも1－2年程度経験 2）基礎レベルの英会話ができる方（高いレベルは不要ですのご安心ください）		
受講料	80,000円（消費税込）		
申込 締切日	2024年9月25日（水） この日がキャンセル期限日となります。	請求書	10月20日締めで10月下旬頃 会員代表に発送致します。

## 申込要領

- 1. 申込方法** 「協会研修会サービス」にてお申込みください。  
操作方法は、「協会研修会サービスご利用ガイド」をご覧ください。
- 2. 申込結果** お申込結果は、「協会研修会サービス」でお申込み後、直ちに画面でお知らせします。  
また、事務担当者（お申込み担当者）・受講者宛にメールでもお知らせします。  
※申込み内容の変更は、「協会研修会サービス」の“申込内容の確認・変更”で行ってください。  
但し、キャンセル期限日以降の変更には制限があります。
- 3. 受講票** 初回開講日2週間前までに、事務担当者（お申込み担当者）・受講者宛にメールで配信致します。  
※万が一受領できなかった場合は、協会研修会サービスよりダウンロードを行ってください。

### 【PCライブ研修（Zoom）について】（第1回・第3回）

- 受講申込頂くにあたり、下記公式サイトで Zoom が使用できるかご確認願います。  
<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>
- お手持ちのパソコン・タブレット等で、Zoomを使用して研修を行います。Webブラウザで参加される場合は、推奨ブラウザ Google Chrome、Mozilla Firefox、Chromium Edgeの利用が推奨されます。
- 有線LANを使用するなど、通信環境のよい場所で受講ください。
- 開始時間になりましたら、受講者ご本人のIDで協会研修会サービスにログインして受講ください。ログインIDは受講票配信メールをご確認ください。
- 研修テキストは、開講3日前頃から協会研修会サービスよりダウンロード頂けます。開封PWは申込コースのコース配信情報画面の備考欄をご確認ください。
- 一口の申込みにつき、一名の方でのご視聴をお願いしております。複数で視聴する、動画URLを第三者に共有する、等の行為は禁止致します。
- ※ 本配信のスマートフォンやデジタルカメラなどによる撮影・録音、動画サイトなどへの無断転載・共有は一切禁止致します。